

## 未来への風をうけて。

玉川村は、豊かな自然環境に恵まれた東部地区。店舗・工場や集落が比較的密集する西部地区と、それぞれ特性のある地域を形成しています。

村の西部に位置する玉川南工業団地は、福島空港や高速道路などへのアクセスが容易で、地理的条件に恵まれ輸送用機械関連企業等が操業をしています。

村の基幹産業である農業は、米・野菜（きゅうり、トマト、いんげんなど）を中心に、畜産や果樹（リンゴ、もも）を取り入れた複合経営が行われています。近年は、さるなし、ブルーベリー、りんどう、小菊などの導入を図り、女性や高齢者も栽培しやすい振興作物として産地化をめざしています。

第3セクターの株式会社こぶしの里が運営する玉川村生産物直売所こぶしの里センターでは、これら村内産の新鮮な野菜や果物などの直売や、さるなし、トマト、空芯菜などを加工し商品化した豊富な特産品が販売されており、『道の駅たまかわ』として親しまれています。また、平成21年2月には、村のアンテナショップとして福島空港ターミナルビル内に、『空の駅たまかわ』がオープンしました。

村の産業は、厳しい情勢のなか、未来への風を受け前進しています。



上空から見た玉川南工業団地

# 産 業



玉川村の特産品



玉川村生産物直売所こぶしの里センター（道の駅たまかわ）



アンテナショップ「空の駅たまかわ」（空港ターミナルビル）



「こぶしの里」店内



県下農業十傑  
〈北須釜〉

榊  
枝  
義  
シゲ  
子  
二  
夫妻



県下農業十傑  
〈川 辺〉

小  
針  
金  
操  
之  
夫妻

# 環 境

## 未来をはぐくむ住環境。

本村では「未来あすにつながる村づくり」元氣な“たまかわ”をスローガンに、次世代まで豊かな自然を保持し、快適で魅力ある生活環境を整備することに力を注いでいます。

特に毎日の生活に欠かせない「水」に目を向け、生活雑排水を浄化して川にもどすための農業集落排水事業の実施により、3地区に排水処理施設を設置するとともに、合併浄化槽設置事業により水環境の整備を進めています。

年々増え続けるゴミについては、可燃ゴミは石川地方生活環境施設組合で処理し、リサイクル可能なゴミの分別収集など資源の循環に努めています。また、石川地方住民の長年の願いでありました、同組合が運営する火葬場の移転新築が完了。最新設備をもち利便性が高く、自然環境にも配慮された新火葬場の供用が、この4月より開始されました。

村民のボランティアによる道路の『花いっぱい運動』や『ゴミ拾い』、さらに各行政区による『河川クリーンアップ作戦』や『道普請・掘普請』などが行われています。

村民の暮らしや命を守るため、消防団や交通安全協会などが日々、訓練や街頭指導などに力を入れています。

東北自動車道と磐越自動車道に接続される『あぶくま高原自動車道路』は、平成21年度内には村内区間がほぼ完成し、高速交通体系がさらに高まります。



あぶくま高原自動車道路（福島空港IC付近）



花いっぱい運動実施



須釜地区農業集落排水処理施設

# 健康・福祉

## 健やかな未来を築くために。

高齢者人口は今後ますます増加し、お互いが共に支えあいながら生活していかなければなりません。村民一人ひとりが健康や福祉に関心を寄せ、自主的に協力しあうことが望まれます。

村では、全村民が健康の維持や増進、病気の予防といった健康教育、治療、機能訓練、在宅ケアなどきめ細かなサービスが生涯をとおして受けられるように、保健、医療、福祉の体制づくりを確立させていく方針です。

高齢者が地域社会のなかで、いつまでも健康で生きがいをもって暮らせるように、在宅福祉サービスの充実や生きがい対策など、総合的な対策を展開しています。

福祉活動で大切なことは、自立を支援することです。障がいを持った人が仕事を通して地域社会に関わり、生きがいと喜びを見出せるよう支援するとともに、母子・父子家庭への経済面・精神面のバックアップも行い、社会的に自立できるように生活資金などの利用促進を図ります。

多様化する生活上の諸問題を迅速に解決するため、保健師、ホームヘルパーや社会福祉協議会・地域包括支援センターなどが連携し、充実した支援体制づくりに取り組んでいます。



玉川村ふれあいセンター



乳児健康相談（村保健センター）



救命講習会



特別養護老人ホームたまかわ荘